

令和2年7月20日

2020(令和2)年9月に実施する大学院入学試験の
実施方法の変更について(第2報)

名古屋大学大学院教育発達科学研究科

新型コロナウイルス感染防止のために、2020(令和2)年9月に実施する以下に挙げる
2021(令和3)年度大学院入学試験については、実施方法を変更します。

(1) 本通知の対象となる入試

- ・ 博士前期課程入試 [第1期試験]
- ・ 博士前期課程入試高度専門職業人養成コース [第1期試験]

(2) 現時点(7月20日時点)で決定している実施方法の変更

《研究科共通》

実施方法の変更方針

- ・ 筆記による学力試験は実施しません。
- ・ 口述試験は、オンライン(遠隔)で実施します。
- ・ 機材(カメラ・マイク付きのタブレット端末やカメラ・マイク付きのノートパソコン等)とネットワーク環境をご自宅等に用意してください。

《教育科学専攻》

教育科学専攻では、筆記試験で問われる知識や能力の一部のうち、希望する研究計画を大学院で遂行する上で必要な知識や能力(語学力を含む。ただし読解力を中心とし、会話力は含めない。)について、口述試験で問うことがあります。

《心理発達科学専攻》

心理発達科学専攻では、志願者多数の場合は出願書類審査によって、口述試験の実施の有無を決定します。また、別途参考資料として英語の能力を証明する書類を受け付けます。出願時に提出してください(提出は任意)。

書類審査の対象となる出願書類(心理発達科学専攻のみ)

博士前期課程入試 [第1期試験]

- ・ これまでの研究テーマまたは卒業論文の題目とその概要 [様式2]

- ・ 研究計画 [様式 3]

博士前期課程入試高度専門職業人養成コース [第 1 期試験]

- ・ これまでの研究テーマとその成果の概要 [様式 2]
- ・ 研究・学修計画 [様式 3]
- ・ 職務および社会的活動説明書 [様式 4]

英語能力を証明する書類の例 ※提出は任意（心理発達科学専攻のみ）

- ・ テストを実施する団体が発行したスコアレポート等のコピー。
- ・ 英語のテストであれば種類は問わない。大学入試センター試験の「外国語（英語）」の「成績通知書」も可。
- ・ スコアの有効期限が切れたものでも可。
- ・ 複数のスコアを提出することも可。

(3) 現時点で検討している実施方法について

・ 口述試験では、Zoom と Microsoft Teams を使用する予定です。いずれも、志願者は無料版を利用して接続できる予定です。接続に関する情報は、改めてお知らせします。

注意事項

第 1 報（2020 年 6 月 17 日）からの変更点

- ・ 研究科共通として、口述試験をオンライン（遠隔）で実施することが確定しました。
- ・ 教育科学専攻の実施方法を加筆しました。
- ・ 心理発達科学専攻の検討中としてお知らせしていた実施方法を、決定事項としました。

今後のお知らせは、研究科のホームページでおこないますので、定期的に確認をしてください。

<http://www.educa.nagoya-u.ac.jp/info/admission/>

自宅等にオンライン環境が無い等、遠隔での口述試験の受験に支障がある場合は、あらかじめ Email で相談してください。

文系教務課(文系総合館 1 階)

Email educa@adm.nagoya-u.ac.jp
